

①	1 個の細胞が 2 つに分かれて 2 個の細胞になること		⑩	雄と雌によって新しい個体がつくられる⑩	
②	タマネギの根で①が起こっているのは、 先端に近い部分か、根元に近い部分か		⑪	⑩のための特別な細胞	
③	①が行われているとき、核の中に見られるひも状のもの		⑫	動物の雌(めす)がつくる⑩	
④	生物の形や性質などのこと		⑬	動物の雄(おす)がつくる⑩	
⑤	③のなかにある、生物の形や性質を決めるもの		⑭	被子植物の胚珠の中でつくられる⑩	
⑥	からだをつくる細胞が分裂する①		⑮	被子植物の花粉の中でつくられる⑩	
⑦	タマネギの根のひとつひとつの細胞をはなれやすくするため、 何の液体に入れて 1 分間あたためるか		⑯	2 種類の⑩が結合し、1 つの細胞になること	
⑧	細胞をひとつひとつに分離するため、タマネギの根をスライドガラ スに乗せたあと、柄つき針の腹でどうすればいいか		⑰	⑯に⑮が⑯した細胞	
⑨	植物の核を赤く染める染色液		⑱	⑰が①をくり返したもの	
⑩	根が成長するとき、細胞の数は増えるか、減るか		⑲	被子植物で、受粉後に花粉から胚珠へ向かって のびるづくり	
⑪	根が成長するとき、細胞の大きさは大きくなるか、 小さくなるか		⑳	⑲の実験をするとき、砂糖を含む寒天溶液をつかって 被子植物のどこのかわりにするか	
⑫	細胞分裂後の 1 つの細胞にふくまれる③の本数は 分裂前と比べてどうなっているか。		㉑	植物の胚珠が発達してできるもの	
⑬	生物が子をつくること		㉒	⑰が⑱になり、からだのづくりが完成していく過程	
⑭	1 つの個体が単独で新しい個体をつくる⑩		㉓	⑩において、⑰がつくられるときに 行われる特別な細胞分裂	
⑮	植物がからだの一部から新しい個体をつくる⑭		㉔	⑭における親と子のように、起源が同じで、 同一の遺伝子をもつ個体の集団	

中3理科	これだけは！一問一答	年組番	名前
生命の連続性② (遺伝の規則性と遺伝子・生物の多様性と進化)			

①	親の形質が子や孫に伝わること	
②	自家受粉によって親、子、孫と代を重ねても、 その形質が全て親と同じであるもの	
③	エンドウの種子の丸形としわ形のように、 どちらか一方しか現れない形質どうしのこと	
④	対になって存在する遺伝子が、減数分裂のときに 分かれて別々の生殖細胞に入るという法則	
⑤	③をもつ②の親どうしを交配したとき、 子に現れる形質	
⑥	③をもつ②の親どうしを交配したとき、 子に現れない形質	
⑦	19世紀に、自家受粉を行うエンドウを用いて 実験を行い、①の規則性を発見した人物	
⑧	遺伝子の本体である物質	
⑨	②の親を交配させたとき、 孫に現れる⑤と⑥の個体の数の比	
⑩	ある生物のDNAに、他生物の遺伝子を組み込むなどして、 生物の遺伝子を変化させること	
⑪	生物のからだの特徴が、長い年月の間に代を重ねて変化すること	
⑫	現在の形やはたらきは異なっても、 もとは同じ器官であったと考えられるもの	
⑬	約1億5000万年前の地層から化石が発見された、 鳥類とハチュウ類の両方の特徴をもつ生物	
⑭	セキツイ動物の5つのグループのうち、一番最初に出現したもの	
⑮	セキツイ動物の5つのグループのうち、一番最後に出現したもの	